学校番号	1101

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	実教出版「最新　社会と情報」　（実教出版）						
副教材等	最新　社会と情報　学習ノート、30 時間マスターWord&Excel2016（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コンピュータやネットワークについて学び、身近なコンピュータに対して、効果的に活用する能力を身に付けよう。
コンピュータを利用したコミュニケーションについて、グループワークや発表などを通して多様な考え方を学び、自分の考えを持とう。

２　学習の到達目標

１．情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。
２．情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して，情報を収集，処理，表現させる。
３．効果的にコミュニケーションを行う能力を養い，情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち,身のまわりの問題を解決するために,自ら進んで情報及び情報技術を活用し,社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために,情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて,思考を深め,適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 発表 定期考査 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テスト 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前	情報社会と私たち　表現と伝達	情報社会と情報 情報とメディア 情報の特徴 メディアリテラシー 情報モラル 文書作成	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 授業に興味を持って参加しようとしているか。 b: 状況に応じて正しく判断できるか。 c: 情報やメディアの特徴等を考えながらメディアを活用する技能があるか。 d: データ，情報，知識の違いや取扱いを理解できるか。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品
前	情報機器とディジタル表現　表現と伝達	情報機器 ディジタル表現 2進数と情報量 文書作成	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	a: 授業に興味を持って参加しようとしているか。 b: 情報機器の活用方法やディジタルの表現方法を適切に判断できるか。 c: 情報機器や表現を適切に扱えるか。 d: 情報機器の種類や表現方法の特徴について理解しているか。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品 課題作品
前	コミュニケーションとネットワーク　表現と伝達	コミュニケーション ネットワークのコミュニケーション ネットワーク 表計算	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: ネットワークのコミュニケーションやネットワークの特性や仕組みに興味を持っているか。 表計算ソフトのデータ入力に意欲的に取り組んでいるか。 b: 目的に応じて適切にネットワークサービスを利用できるか。 条件に合わせて適切に関数を選択して利用できるか。 c:適切に各種インターネットのサービスを利用できるか。 d: ・インターネットの基本的なサービスの内容と利用方法を理解しているか。 条件に合わせて関数を選択して利用するための知識があるか。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品

後	情報社会と問題解決　表現と伝達	・情報システムと人間 ・問題解決 ・表計算 ・プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a: 社会における情報システムや問題に興味・関心を持っているか。 表計算およびプレゼンテーションソフトに興味・関心を持っているか。 b: サイバー犯罪や情報社会の課題について理解しているか。 条件に合わせて適切に関数を選択して利用できるか。 c: 問題解決のための手段を選択できるか。 目的に応じてわかりやすいグラフ等の表現ができるか。 d: 問題解決の手順と解決するための工夫を理解しているか。 条件に合わせて関数を選択して利用するための知識があるか。	授業観察 ワークシート 定期考査 実習作品 課題作品
後	表現と伝達	・プレゼンテーション	○	○	○	○	a: プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的に関わっているか。 b: プレゼンテーションのテーマヤストーリーは適切か c: 画像，音声，アニメーションなど，多様な表現メディアを利用しているか。 d: プレゼンテーション制作の流れを理解し、 画像，音声，動画など多様なメディアを効果的に利用する方法を理解しているか。	授業観察 実習作品 課題作品 発表 相互評価 自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。